

事業所名		障がい福祉サービス事業所 コバン・クラージュ					公表日	2025年 2月 1日		
		利用児童数					53名	回収数		23名
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	記入なし	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	3						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		4		①ここ最近の利用人数なども見る機会がないので分かりません。職員さんの配置数もよく分かりません。 ②コロナ以降施設内に入る機会がなく、わからないと回答しました。	今年度のより、活動室内での保育参観や保護者会を本格的に再開したところです。次年度は更に皆さまにお越しいただけるよう工夫していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			2		①コロナ以降事業所の中に入る機会が減ったため、生活空間の状況は良く分かりません。 ②コロナ以降施設内に入る機会がなく、わからないと回答しました。	保護者様にお越しいただく機会を増やすと共に、ジャンプやおそろクローバーを通し室内環境なども発信していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1		2		①きっと大丈夫であると思っています。 ②コロナ以降施設内に入る機会がなく、わからないと回答しました。	今年度は、場所ごとに担当を決め、環境整備に力を入れています。次年度初めまで続く予定です。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22			1		眠気の強い時、疲の多いとき、その時々に応じて対応して頂けてありがとうございます。	ひとつの障がいには偏ることがないように、受け入れを行っています。様々な職種間で多角的にお子さんを観察し、安全に過ごしていただけるよう配慮しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1		ホームページの確認をしていないので、分からないと回答しました。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	23					とても理解していただけており、助かっています。	個性のある、オーダーメイドの計画書作成を目指し、研鑽し続けます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23						5領域との繋がりを明確にした計画書の立案、支援提供を今後心がけます。また保護者様と共に学び、共にお子様の成長を見守ります。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	3		1				
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	3	5		①感染症などの問題はあると思うが、機会があると良いと思う。 ②月3回の利用のため、分かりません。 ③体調が急変しやすいので、感染症の多い時期は、特に交流などは控えたいと思います。	今年度初めて、こどもクラブさんとの交流機会を持ちました。《共に遊ぶ経験》ができて、楽しい交流となりました。次年度も交流予定です。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1						
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23						保護者会を5回開催しています。毎回ではありませんでしたが、ペアレント・トレーニングや感情マネジメントの要素を入れた勉強会を開催させていただきました。ジャンプやおそろクローバーにおいても、子育てのヒント等掲載中です。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	1				いつも帰り際その日の状況をたくさん話していただけるのでとても安心して利用できます。	今度も、保護者様がイメージしやすい、分かりやすい情報共有を心がけます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	3				①子どもの体調が急変したり、入院も多いため、中々時間がとれないです。②とても分かりやすく説明いただいております。	面談やモニタリング時だけでなく、いつでもお声かけいただきたいと思っています。共に子育てをしていきたいと考えています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	4	1	2		①いつもたくさん交流会を企画していただき、ありがとうございます。是非また子どもの体調が良いときに参加させていただきたいです。 ②保護者の交流はあるが、ここ数年はコロナの影響できょうだい向けのイベントは全く残念です。薄らいだら是非お願いしたいです。 ③きょうだいの交流会が復活するといひ。 ④きょうだい向けイベントは分かりません。	5回保護者様の集まる機会を作りました。今回は、保護者様だけとしていますが、次年度は、コロナ前の様に、きょうだいの参加の企画も考えています。是非お越しいただければと思います。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1			相談、またご希望、苦情等含めまして、すのが受け付け窓口となっております。不在にしていることもありますが、必ず折り返ししますので、ご連絡いただければと思います。	
	20	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	2		1				
非常時 等の 対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	23							
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1				ホームページや配布資料への写真掲載については、閲覧範囲が心配です。	個人情報に関しましては、同意書をいただき、SNSへの掲載もご了承いただいた方が載せております。今後も十分留意いたします。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23						訓練の様子は、広報誌、ジャンプ、おそろクローバー、SNS等を使い、みなさまに情報が届くよう工夫いたします。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23					お便りなどでいつも拝見させていただいております。	災害訓練に関しても、広報誌、ジャンプ、おそろクローバー、SNS等を使い、みなさまに情報が届くよう工夫いたします。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1						
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23					きちんと対応してくださっていると思います。小さなことでも連絡くださいます。	有事の際には、速やかに保護者様、医療機関等に連絡いたします。	

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22			1	①職員さんが優しいので、甘えてしまう様ですし、安心していると思います。 ②いつもリラックスした状態で通えていると思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1		1	①どうしても聴覚が過敏なので少し不安ですが、対策はしていただいているので、ありがたいです。 ②楽しいことが大好きなので、今日は何をするのかな？と毎回ワクワクしていると思います。	《また行きたい》そう思っただけの環境作り、サービス提供を心がけます。知識、技術の向上、また人間性の向上を図り続けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1		1	①毎回体調を見ながら、その時々に合わせて支援していただけて本当にありがたいです。 ②外出の機会も多く、本人もとても楽しく利用している。 ③とても良くいただいています。	今後も、児童だけでなく、関わる全ての方々に満足していただけるよう努力して参ります。子どもたちのパワーに負けないよう、元気に、そして笑顔いっぱい、愛情いっぱい関わって行きます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい福祉サービス事業所 コバン・クラージュ			
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～	2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月24日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外出活動を多く取り入れており、様々な体験の提供ができています。	外出を通し、公共の場での過ごし方等について、経験を通し学ぶ機会としています。また、買い物体験も行っており、自動精算機の使用法、コミュニケーション方法などを地域の中で経験しています。	夏季休暇、祝日、土曜日の外出がメインであるため、放課後利用時にも外出活動が取り入れられないかと考えています。
2	保護者様支援に力を入れています。	クラージュでは、医療的ケア児(者)親の会【おしゃべりクラブ】・ダウン症児(者)親の会【マーガレット】の事務局を担っています。今年度は5回保護者会の企画をしました。プチ勉強会も実施することができました。	今後も様々な形での保護者会を企画する予定です。また、コロナ禍でしばらくお休みしていた【きょうだいも参加できる会】の開催も検討中です。
3	看護師が配置されており、医療的ケアの必要な児童を受け入れることができます。	毎日看護師が出勤しており、医療的ケアの実施をしています。また、注入する栄養や吸引、吸入等に関しては、保育士や児童指導員も誰がどのようなケアを行っているか、全員で把握しています。	人工呼吸器使用のお子さんについては、要相談となっています。受け入れできる環境を作っていきたいと思っています。
4	中庭が広く開放的です。外気を浴びながら楽しく身体を動かすことができます。	遊具やそり、プール遊びだけでなく、野菜を育てることなども経験しています。中庭にブルーシートを敷いてゴロンとすることも、開放的で良い気持ちです。	中庭遊びのレパートリーを増やしていきたいと思っています。
5	就労移行、就労継続B型との多機能型事業所であるため、保護者様も将来の見通しを持ちやすい環境にあります。	保護者会等を活用し、就労移行や就労継続B型について、それぞれの部門リーダーから説明を受ける機会を設けることができました。	コロナ前の様に、施設全体でのイベント等を企画し、異年齢間の交流機会を活発にしていきたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入浴支援がとて混みあっており、ご希望日全での入浴が難しい現状です。	入浴支援を行う事業所が2事業所のみとなっていること、また下校後の入浴となるため、時間が限られます。	特に希望が集中してしまう日に関しては、保護者様と連絡を取り、可能であれば利用日ごと移動していただくことも検討します。
2	支援学校へのお迎え、また15時送迎や16時30分送迎など多岐にわたるため、支援級へのお迎えができていません。	入浴支援、また支援学校のお迎えに必要な車両(車いすが乗るものも含む)、人員も多いことが要因としてあげられます。	近隣の支援学校であれば、迎えが可能かなど、シミュレーションしてみることも一つだと思います。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障がい福祉サービス事業所コバン・クラージュ(放課後等デイ)				公表日 2025年2月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	その日使用してに物品に関しては、室外に出すなど、可能な限り使用できるスペースの確保をしています。	座位保持や歩行器等子どもたちに必要な物品は大きく、また多いですが、必要な時にタイミングを外さずすぐ使用することができるよう工夫します。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	イルカ、らっこそれぞれの活動部屋に対する人員の配置については、勤務表作成の時点で明確にしています。	イルカ、らっこの担当を固定しすぎず、柔軟な職員体制を組んでいきます。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3	カームダウンエリアの確保が難しい場合には、パテーションで個別の空間を作る事、また簡易テント等で対応しています。	事前に必要なことが予測できる場合には、相談室を事前に確保し対応します。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7					
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		イルカ、らっこそれぞれの活動室でのミーティングは毎日、また全職員を集めた部門会議を月に3回実施しています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7				
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		学びの機会は多く提供しています。クラージュ内では月に2回程度研修会を実施しています。また児童部門単独でも勉強会を行っています。外部研修への参加では、職員全員が年に一度は参加できるよう工夫しています。	より良い支援が提供できるよう、自己研鑽を怠りません。			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7	2月1日公表の予定です。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		5領域を網羅した計画書、また保護者様支援や移行支援についてももちろん記載しています。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		保護者様、また担当職員、そして多職種が意見を持ちより計画を立案しています。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		朝のミーティング時に計画書の確認を行っています。前回の利用状況も合わせて確認し、支援を行うようにしています。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	主にクラージュ独自のアセスメントシートを基に情報収集を行っています。			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		入職したばかりの職員でも、計画書を見れば何をすべきかわかるよう、より具体的な記載を目指しています。	今後も、個性のあるオーダーメイドの計画書作成に向け、学び続けます。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		月ごとの担当制になっており、4名のチームで検討しています。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日々異なる活動を実施しています。	創意工夫を怠りません。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		2~3名での活動、10名以上での活動、また対面での活動など適時的に合わせ組み合わせながら支援を提供しています。			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝のミーティングを欠かさず実施しています。			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	勤務時間の違いや送迎などで、帰りに全員が揃うことはありません。業務日誌を活用し、大事なことをメモするよう心がけています。また朝のミーティングでは、前回の様子についても必ず触れるようにしています。			
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		業務日誌やケース記録を毎日つけています。				
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリング時には、可能な限り児童発達支援管理責任者と担当が出席する様にしていきます。また、保護者様にもご参加いただき、次期の計画を話し合うようにしています。				
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		多様な体験や自主的に参加できる活動の組み立てなど、工夫しながら実施しています。				
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	7		やるのかやらないのか、また活動用品や食べるものなど可能な限り全てにおいて自己選択できるよう工夫しています。				
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7						

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	窓口は児童発達支援管理責任者とし、1本化しています。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7		短時間になってしまいますが、学校の先生との情報共有は大切にしています。お聞きした情報は、職員間で確実に共有しています。	学校でのイベント、疲労度などを考慮し活動を変更することもあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	園との共有は適時実施しています。また、医療的ケア児支援センターへの相談、情報の共有はこまめに行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		申し送り書を作成し、進路先にお渡ししています。	移行支援会議などお声かけいただいた場合には、発達の過程を丁寧に伝えるようにしています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	医療的ケア児支援センターとの情報共有、また相談など数多く実施しました。センターが開催する研修会に参加し、スキルアップを図ることができました。	今後は医療的ケア児支援センターだけでなく、地域の児童発達支援センターとも連携を深めたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		今年度はこどもクラブと交流機会を持つことができました。	感染症の関連で、控えていた交流ですが、徐々に再開しています。次年度も実施予定です。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7		圏域の人材育成部会、また県の子ども部会等に参加しています。また児童のグループ会議等で横のつながりを作っています。	次年度は圏域において児童の専門コース別研修を実施予定です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートや出席ノート、また対面にて情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		保護者会開催時には、対面にて勉強会を実施しています。また“ジャンプ”や“あおぞらクローバー”を活用し、子どもへの声かけの仕方、褒めること、認めることの大切さを発信しています。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時、児童発達支援管理責任者より書面を基に説明しています。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		可能な限り保護者様にもご参加いただき、次の計画について話し合うようにしています。子ども主体の計画書作成を心がけています。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	4	基本的には保護者様と一緒に考え計画を作成していますので、要点のみの説明にてご同意いただいております。	今後は、より丁寧な説明を心がけます。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	連絡ノートに困りごとを記載して下さるかたもいらつやいますし、お電話でのご相談くださる方もいらつやいます。すぐに返答が難しいこともあるため、多職種で検討し、後日丁寧に返答させていただくこともあります。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		コロナ後、感染症に留意しつつ対面での交流会を再開しているところです。今年度は5回開催することができました。また、ダウン症児(者)の保護者会【マーガレット】を発足することができました。	次年度は、きょうだい参加の催しも再開します。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		窓口や責任者を設置し体制を整えております。	お問合せ、ご要望等を伝えやすい関係性作りを努めて参ります。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		全体の広報誌だけでなく、イルカでは“ジャンプ”を、らっこでは“あおぞらクローバー”を発行し、子どもたちの様子を発信しています。またSNSに関しても、毎月多くの記事をアップしております。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		年に1回研修会を実施し、大切な個人情報の取り扱いについてリマインドしています。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	言語だけに偏らず、多様なコミュニケーション方法を使い意思疎通を行っています。また情報の見える化を意識しています。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	事業所に地域の方をお招きすることに関しては、未実施となります。	イベント時や研修会などの機会を活用し、地域の方にもお越しいただけるよう工夫していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		児童分野だけでなく、各委員会も交えつつ研修を行うことができました。	様々な事故発生を想定し、今後も研修を実施します。いざという時、慌てず動くことができるよう、シミュレーションを繰り返します。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		各部署にて、それぞれのリーダーが主となり研修会を実施しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		事前にご家族と対応方法について確認しています。また、必要に応じ、医師の指示を仰いでいます。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時、アレルギー等について聞き取りをし、食事に記載する等で厨房との連携を図っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4	周知については、まだ不十分だと考えます。	今後、保護者会等の機会を使い、対面にて丁寧に説明していきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		各部署にて再発防止を検討し、さらにリーダー会議でも議題とします。職員会議時には、再発防止も含め全体に周知しています。	ヒヤリハットを増やし、大きな事故を防いでいきたいと思っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会を中心とし、年に2回実施しています。また、外部研修にも可能な限り参加し、研修報告という形で全体周知をしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		やむを得ず身体拘束を行う場合の条件等については、研修で話をしています。心愛会では、身体拘束は行いません。	